

【別冊 4】

平成30年登米市議会定例会 2月定期議会 資料

一般会計・特別会計・企業会計
平成30年度当初予算の概要

平成30年2月2日

平成30年度当初予算の概要

〔一般会計〕

歳入歳出予算の総額をそれぞれ536億6,730万円とするものであります。前年度当初予算との比較では、70億597万円、15.0%の増額となっております。

歳入では、一般財源として、市税76億1,307万円、地方交付税203億900万円を見込み、特定財源として国・県支出金95億8,150万円、市債81億3,590万円、さらに、各種特定目的基金から15億470万円を繰り入れし、財源不足分については財政調整基金からの繰入金19億7,099万円を計上しております。

歳出では、未来のまちづくり支援事業1億6,010万円、認定こども園施設整備事業3億915万円、迫児童館整備事業3億218万円、(仮称)新クリーンセンター整備事業69億3,433万円、多面的機能支払事業6億770万円、企業立地促進事業4億2,463万円、道路新設改良事業17億5,254万円、(仮称)新登米懐古館整備事業4億2,429万円などを計上しております。

また、債務負担行為7件、地方債37件を計上しております。

〔国民健康保険特別会計〕

歳入歳出予算の総額をそれぞれ91億5,800万円とするものであります。前年度当初予算との比較では、20億2,162万円、18.1%の減額となっております。

歳入では、国民健康保険税21億2,915万円、県支出金62億6,380万円などのほか、一般会計繰入金7億4,081万円を計上しております。

歳出では、保険給付費62億5,355万円、国民健康保険事業費納付金25億6,371万円、保健事業費9,440万円などを計上しております。

〔後期高齢者医療特別会計〕

歳入歳出予算の総額をそれぞれ8億3,351万円とするものであります。前年度当初予算との比較では、6,238万円、8.1%の増額となっております。

歳入では、後期高齢者医療保険料5億2,022万円、諸収入1,662万円などのほか、一般会計繰入金2億9,646万円を計上しております。

歳出では、後期高齢者医療広域連合納付金7億7,197万円などを計上しております。

〔介護保険特別会計〕

歳入歳出予算の総額をそれぞれ101億9,291万円とするものであります。前年度当初予算との比較では、7億4,697万円、7.9%の増額となっております。

歳入では、介護保険料20億7,077万円、国県支出金40億6,724万円、支払基金交付金26億2,447万円などのほか、一般会計繰入金14億2,992万円を計上しております。

歳出では、介護サービスなどの保険給付費94億7,169万円、地域支援事業費4億550万円、総務費1億6,890万円などを計上しております。

〔土地取得特別会計〕

歳入歳出予算の総額をそれぞれ1億3,708万円とするものであります。前年度当初予算との比較では、1,261万円、10.1%の増額となっております。

歳入では、土地開発基金繰入金1億3,702万円などを計上し、歳出では、宅地造成事業特別会計への繰出金1億3,702万円などを計上しております。

〔下水道事業特別会計〕

歳入歳出予算の総額をそれぞれ48億8,225万円とするものであります。前年度当初予算との比較では、8,178万円、1.6%の減額となっております。

歳入では、使用料及び手数料7億6,718万円、国県支出金3億2,285万円、市債17億110万円などのほか、一般会計繰入金19億8,562万円を計上しております。

歳出では、下水道施設整備費11億4,787万円、総務費11億341万円、公債費26億1,596万円などを計上しております。

また、債務負担行為2件、地方債3件を計上しております。

〔宅地造成事業特別会計〕

歳入歳出予算の総額をそれぞれ1億6,798万円とするものであります。前年度当初予算との比較では、4,361万円、35.1%の増額となっております。

歳入では、土地取得特別会計繰入金1億3,702万円、一般会計繰入金3,096万円を計上し、歳出では、企業用地造成事業費1億6,798万円などを計上しております。

〔水道事業会計〕

業務の予定量について、給水件数を3万400件、年間総有収水量を778万 m^3 と定め、収益的収入の予定額を25億8,235万円、支出の予定額を25億6,590万円とし、単年度で純損失が8,241万円となり、前年度の欠損金3,137万円と合わせ年度末の未処分利益剰余金は1億1,378万円の損失となるものであります。

営業収益では、前年度より1,434万円減の22億5,709万円、営業費用については、前年度より3,300万円増の23億2,412万円を計上しております。

資本的収支では、収入の予定額を11億6,342万円、支出の予定額を23億100万円とし、取水施設整備事業、浄水施設整備事業、配給水施設整備事業などの建設改良費に15億9,786万円、企業債元金償還金7億313万円を計上しております。

また、企業債4件を計上しております。

〔病院事業会計〕

業務の予定量について、延べ患者数を入院10万5,545人、外来25万7,636人と定め、収益的収入の予定額を73億6,677万円、支出の予定額を79億317万円とし、単年度の純損失を5億3,640万円とするものであります。

医業収益については、前年度より9,738万円減の65億7,566万円、医業費用については、前年度より565万円減の75億6,942万円、特別損失として、退職給付引当金繰

入額 1 億 1,405 万円を計上しております。

資本的収支では、収入の予定額を 25 億 5,990 万円、支出の予定額を 25 億 8,970 万円とし、米谷病院建設事業や医療機器整備事業、医療情報システム整備事業などの建設改良費 21 億 8,690 万円、医学生奨学金等貸付金 3,980 万円、企業債元金償還金 3 億 6,299 万円を計上しております。

また、債務負担行為 1 件、企業債 5 件を計上しております。

〔老人保健施設事業会計〕

業務の予定量について、延べ利用者数を入所 2 万 5,550 人、通所 7,982 人、居宅 366 人と定め、収益的収入の予定額を 4 億 2,509 万円、支出の予定額を 4 億 5,362 万円とし、単年度の純損失を 2,852 万円とするものであります。

事業収益については、前年度より 803 万円増の 4 億 518 万円、事業費用については、前年度より 232 万円増の 4 億 2,150 万円、特別損失として、退職給付引当金繰入額 1,870 万円を計上しております。

資本的収支では、収入の予定額を 6,170 万円、支出の予定額を 6,170 万円とし、ナースコール・電話設備更新などの建設改良費 2,196 万円、企業債元金償還金 3,974 万円を計上しております。